

きょうだい児(病気や障害のある子どもの兄弟姉妹)への支援  
日本調剤株式会社 薬剤企画部 CSR 活動チーム 社員ボランティアの皆様  
【パートナー団体: NPO 法人しづたね 他】

■活動の目的:

きょうだいに病気や障がいがある『きょうだい児』は、寂しさや不安を抱えやすい一方で、保護者の目がきょうだいのケアに向きがちなため、自身の体験の機会や家族との時間が不足するという課題があります。私たちの活動は「すべての人の『生きる』に向き合う」という使命のもと、薬局という身近な場で、薬剤師の専門性を活かした「家族と一緒に参加できる」体験を提供し、きょうだい児とご家族が安心して共に過ごせる時間の創出を目的としています。

■活動を始めたきっかけ(活動開始:2022年4月):

きょうだい児支援が行き届いていない現状を社員が知ったことが発端です。NPO 法人しづたねと、きょうだい児と家族の応援団 にじいろもびーるとの対話で、「きょうだい児は我慢をすることが多く、自分が主役になれる体験が少ない」という切実な声を聞き、全国に薬局を持つ私たちができる支援を考えました。薬局の見学や薬剤師の職業体験を通し、仕事への興味を持ちたり、当事者間の交流やきょうだい児とご家族と一緒に過ごしたりする機会を提供したいと考え、活動を開始しました。

■活動内容(ボランティア実数 8 名):

NPO 法人しづたね、きょうだい児と家族の応援団 にじいろもびーると協働し、2023年1月から計4回、大阪、東京・茨城にある日本調剤の薬局でイベントを開催。これまで、のべ40名以上のきょうだい児とご家族が参加しています。

●「本物」にこだわる薬剤師体験

参加するきょうだい児には白衣を着てもらい、普段は入れない調剤室を見学。体験では、お菓子を薬に見立て、薬局で使う本物の機器を使用。軟膏板でのクリーム混合、乳鉢での粉碎、錠剤分包機での一包化など、薬剤師の仕事をリアルに体験してもらいました。

●医師との連携による「チーム医療」体験への進化

2025年5月に実施したイベントでは、これまでの日本調剤の活動を知り、共感して下さった医師にもご協力いただき、薬剤師体験に加えて医師体験を実施しました。きょうだい児が医師役となり、本物の聴診器やペンライトで家族を診察。その場で処方箋を発行し、次に薬剤師役として、自らが発行した処方箋に基づき調剤を行うという、「診察から投薬まで」の一連の医療の流れを体験する本格的な内容へと発展しました。





### ●楽しく学ぶ機会の創出

体験に加えて、医師や薬剤師から、子どもたちが楽しく学べるようなクイズを実施。「ウイルスと細菌の違いは？」といった、ご家族も一緒に学べる内容で行いました。また、NPO 法人しづたねのヒーロー『シブレット』も登場。ヒーローの中身は「子ども達に喜んでもらいたい」と願う社員が務め、パートナー団体の皆さんと社員が一体となって場を盛り上げました。

### ●修了証の授与

イベントの最後には、参加したきょうだい児一人ひとりに『修了証』を授与。仕事をやり遂げたという達成感を形にして、思い出として持ち帰ってもらいました。

### ●他企業との連携

昨年度の『企業ボランティア・アワード』での出会いをきっかけに、2025年8月にはサノフィ株式会社主催の小学生を対象としたお薬に関する学習体験イベントにも参画。薬局外での調剤体験も実施し、活動の幅を広げています。

### ■活動の成果：

きょうだい児から「うちの妹のお薬に関わるお仕事をいつもありがとう」と、一連の体験で学んだからこそその感想や、保護者から「息子が参加理由に『妹の病気を治したいと思ったから』と書いていて嬉しかった」と声を頂きました。体験を通じて、ご家族がお子さんの新たな一面や成長を発見し、喜びを共有する時間になりました。また「安全に薬を処方していただいていることがよく分かり安心した」と、本業への信頼にも繋がっています。

第11回企業ボランティア・アワード『大賞』